



出小だより

<http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/>
E-mail izumo-es@izumozaki.ed.jp

出雲崎小学校だより No.10
令和7年1月24日



「よい道を踏む」－雪の新学期を迎えて－

校長 _____

雪の降り続く日は、早朝に踏んで、子供たちが学校から帰る前に踏んで、さらに夕方もう一度踏む。それは、翌朝の雪踏みが大変にならないようにするための、いわば朝の準備の雪踏みである。この夕方の雪踏みを、塩沢町では「よい道をつける」、「よい道を踏む」と言った。よいは、「宵」なのだが、「よい」に通じて踏む方も何かしら人のためによりよいことをしている気になったという。

(須藤功 1988「すまう 写真で見る日本生活図引④」弘文堂)

旧塩沢町(現南魚沼市)の人々がかんじきを履いて新雪を踏みしめ、道をつける姿を描写した文です。消雪パイプや除雪機が整う以前、毎日のように雪が降り積もる雪国の山間地では、雪踏みの当番を決めて、道を確保しました。

教育や子育ては、「よい道を踏む」営みと似ています。毎日道をつけて、子供を導く。これは大変地道な努力を要します。しかし、苦勞して踏んだ道を子供が元気に登校する姿や成長を遂げていく様子を見守ることに、代え難い喜びがあったのではないのでしょうか。

学校、家庭、地域が目指すのは、やがて、子供が自分で歩むべき方向を見定め、自力で雪道を踏むことができるようにすること、つまり、自分の人生を自分で切り拓く力を付けることです。雪踏み同様、努力を要しますが、喜びの多い尊い営みです。

雪に覆われた新年となりました。時代は変わっても、今の出小っ子も頑張って登下校をしています。雪の中、お互いを思いやる姿を目の当たりにすると、厳しい寒さが子供たちを着実に成長させていると感じます。

少しずつですが、夜明けが早くなりました。春が確実に近付いています。やがて子供が一人で自分の道を歩き始めるその日まで、私たち大人は力を合わせてよい道を踏んでいきましょう。

3学期もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

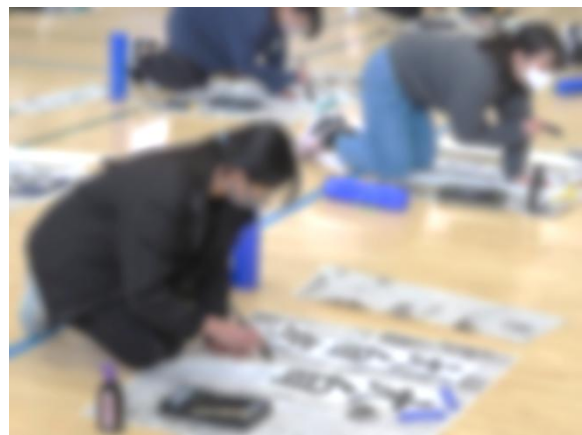
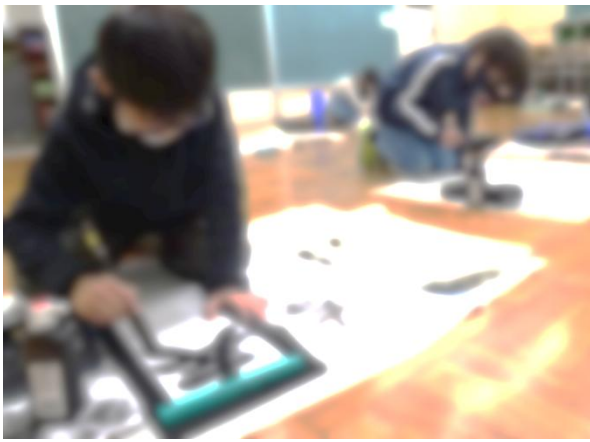


(写真は新潟県立歴史博物館展示資料)

新学期早々のチャレンジ～書き初め大会

1月9日（木）、書き初め大会を実施しました。
まず、講師の_____先生から、「心を落ち着かせて書くことが何よりも大切です」とご指導いただきました。寒い中、一筆一筆に心を込めて、丁寧に書き上げていた子供たちです。
ご家庭でも練習を見守ってくださりありがとうございました。

1月31日（金）まで校内書き初め展を実施しています。どうぞお越しください。



入賞おめでとう

令和6年 新潟大学全国硬筆大会

特選 1年 _____さん

6年 _____さん

- 5日（水）5年スキー教室
 - 7日（金）4年スキー教室
 - 12日（水）移行学級 6年巨大書体験（講師：_____様）
_____カウンセラー勤務 8:30-12:00
 - 13日（木）1・2年そり遊び 8:50 - 12:00 国営越後丘陵公園
 - 14日（金）職員研修のため、短縮時程5限放課
5限5年生活習慣改善学習
 - 19日（火）漢字ステップアップテスト _____カウンセラー勤務 13:30-16:30
 - 20日（木）朝清掃、4年学年PTA行事、午後：学習参観、学年懇談会
_____カウンセラー勤務9:00-13:10
 - 26日（水）計算ステップアップテスト _____カウンセラー勤務 13:00-16:30
学校支援地域本部委員会
- 校内版画展18日（火）～3月4日（火）